

平成25年度

年 報

HOKKAIDO MUSEUM OF LITERATURE
北海道立文学館
(指定管理者)公益財団法人 北海道文学館

■ 目 次 ■

◆目的及び事業	2~3
◆平成 25 年度事業概要	
I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業	4
II 展覧会事業 (1) 展覧会開催事業	4
(2) 常設展の展示構成	5
III 教育普及事業	5~6
IV 北海道文学に関する調査研究事業	7
V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業	7
VI 啓発広報事業	8
VII 刊行物の刊行事業	8
VIII その他の付帯事業	8
◆統計・資料	
I 平成 25 年度 展覧会別観覧状況	9
II 平成 25 年度 事業別利用状況	9
III 平成 25 年度 資料収集状況	10
◆組織及び職員	
I 組織機構図	11
II 職 員	11
◆その他	
I 文学館の歩み	12~13
II 諸会議・運営日誌	14~16
III 公益財団法人北海道文学館役員名簿	表 3

■ 目的及び事業 ■

●北海道立博物館条例（抄）

（設置）

第1条 北海道における教育、学術及び文化の振興を図るため、北海道立博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

（名称及び位置）

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
北海道立北方民族博物館	網走市
北海道立文学館	札幌市
北海道立釧路芸術館	釧路市

（事業）

第3条 博物館は、次の事業を行う。

- (1) 資料を収集し、保管し、展示し、及び閲覧に供すること。
- (2) 展覧会、講演会等の催しを開催し、及び他のものが行うこれらの催しに協力すること。
- (3) 資料の利用に関し、必要な説明、助言等を行うこと。
- (4) 博物館（北海道立北方民族博物館（第6条において「北方民族博物館」という。）を除く。）の施設及び設備（以下「施設等」という。）を文学、美術等芸術に関する催しの利用に供すること。
- (5) 資料に関する専門的又は技術的な調査研究を行うこと。
- (6) 資料の保管、展示等に関する技術的な研究を行うこと。
- (7) 解説書、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (8) 他の博物館等と連携し、及び協力すること。
- (9) 地域の教育文化施設が行う北方文化、文学、美術等芸術に関する活動を援助すること。
- (10) その他設置の目的を達成するために必要な事業

（指定管理者による管理）

第4条 博物館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定による指定を受けた法人その他の団体（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

（指定管理者が行う業務の範囲）

第5条 指定管理者が行う業務は、次のとおりとする。

- (1) 第3条各号（第5号及び第6号を除く。）に掲げる事業に関する事。
- (2) 第8条第1項、第13条及び第16条第2項の承認に関する事。
- (3) 施設等の維持管理に関する事。
- (4) その他教育委員会が定める業務。

（開館時間）

第6条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時まで（北方民族博物館にあっては、午前9時30分から午後4時30分まで）とする。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に開館時間を変更することができる。

（休館日）

第7条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、博物館の管理運営上必要があるときその他特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、休館日に開館し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日（当該日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、休日に該当しない当該日の直後の日）

(2) 12月29日から翌年の1月3日まで

(利用料金)

第12条 利用者は、その利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に納めなければならぬ。

2 前項の規定により指定管理者に納められた利用料金は、指定管理者の収入とする。

3 利用料金の額は、別表に定める額の範囲内において、指定管理者が知事の承認を受けて定める。これを変更しようとするときも、同様とする。

別表（第12条関係）

1 博物館に展示する資料を観覧する場合

(2) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の常設展示の場合

区分	利用料金の上限額	
	個人	10人以上の団体
1 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	490円	1人に 330円 つき
2 1以外の者（学齢に達しない者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者を除く。）	930円	1人に 770円 つき

2 北海道立文学館の特別展示室又は講堂を利用する場合

区分	利用料金の上限額		
	午前	午後	1日
特別展示室			68,940円
講堂	9,210円	11,510円	17,670円

(4) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の特別展示の場合

区分	利用料金の上限額	
	個人	10人以上の団体
1 小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者	1,380円	1人に 1,190円 つき
2 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	2,260円	1人に 1,680円 つき
3 1及び2以外の者（学齢に達しない者を除く。）	3,430円	1人に 2,660円 つき

■ 平成 25 年度事業概要 ■

I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業

購入資料受入れ総数 (図書・雑誌及び特別資料等)	1,176 点
寄贈資料受入れ総数 (同上)	2,919 点
	4,095 点
整理・保存 収蔵資料のコンピュータ入力並びに寄贈目録の作成等	
閲 覧 利用者 延	4,575 人

II 展覧会事業

(1) 展覧会開催事業

区分	事 業 名	実施時期 (日数)	観客数 (人)	展 覧 会 の 概 要
	常設展 北海道の文学	通年 (271 日間)	12,288	北海道の文学を時系列に従いつつジャンル別に構成し、解説している。ビジュアルな展示スタイルに主眼を置き、直筆原稿・遺品・初版本・書簡・写真などの貴重な資料 1,350 点を紹介。(○展示構成を次頁に掲載。)
	特別展 紙芝居の今昔	5 / 25(土) ～ 7 / 7(日) (38 日間)	2,260	日本の大衆文化の中で生まれ育った紙芝居は、他国にはない日本独自の文化である。 昭和初期に誕生した紙芝居の源流そして歴史と現在に至る展開を群馬県立土屋文明記念文学館の所蔵品を中心に紹介。
	ファミリー文学館 絵本・カムイの物語	7 / 20(土) ～ 8 / 25(日) (32 日間)	2,096	アイヌ民族に古くから伝わる物語に動物や植物、風や火といった自然現象などカムイ(神)を主人公にしたカムイ・ユカラがある。版画家手島圭三郎や横山孝雄などのカムイの世界を描いた絵本や映像等を紹介。
	特別展 挿絵が僕らに くれたもの	9 / 7(土) ～ 10 / 20(日) (38 日間)	8,232	宮崎駿が現代のファンタジーの源泉だと語るアンドルー・ラングによる世界各国の童話集の挿絵や同じく影響を受けたロシアの挿絵画家ビリー・ビンの名画など、宮崎駿の創造の原点とも言えるファンタジーの世界を紹介。
	特別展 ほっかいどうの短歌 100 首	11 / 1(金) ～ 12 / 8(日) (39 日間)	1,590	北海道を詠んだ石川啄木、北原白秋、若山牧水、与謝野晶子、斎藤茂吉、斎藤史など著名歌人たちの秀歌を、自筆の色紙、短冊など貴重な資料とともに紹介。
	特別展 荒巻義雄の世界	2 / 8(土) ～ 3 / 23(日) (38 日間)	1,605	小樽に生まれ、札幌で創作を続ける荒巻義雄は、70 年に SF 作家としてデビュー、「紺碧の艦隊」シリーズがベストセラーになった。180 冊におよぶ著書の領域は SF 評論のほか伝奇小説、美術評論、詩にまでわたり、その幅広い表現世界を紹介。

【常設展プレミアム】

「木版画家・佐藤国男による宮沢賢治ワールド」

4月 12 日(金)～5月 12 日(日) 27 日間 観覧者数 2,104 人

没後 80 年になる詩人・宮沢賢治の童話や詩をテーマに木目を生かした心温まる版画を彫り続けている佐藤国男の作品を紹介。

【文学館アーカイブ (新着資料) コーナー】

・第 1 期展示 〔4 月 2 日(火)～6 月 30 日(日)〕

有島武郎の絵画

「有珠無名谷の煙」ほか当館所蔵の有島武郎の絵画を紹介。

・第 2 期展示 〔7 月 2 日(火)～9 月 29 日(日)〕

鳩沢佐美夫自筆資料

「対談・アイヌ」などの作品で知られる小説家・鳩沢佐美夫の自筆原稿などを紹介。

・第 3 期展示 〔10 月 1 日(火)～12 月 14 日(土)〕

北海道の漫画家たち

当館所蔵の森雅之、畠中純のイラストのほか北海道ゆかりの漫画家たちを紹介。

・第 4 期展示 〔2 月 1 日(土)～3 月 30 日(日)〕

岡村吉右衛門・染絵作品

柳宗悦の民芸運動に参加した染色家・岡村吉右衛門の染絵作品を紹介。

(2) 常設展の展示構成

〈北海道の文学、その歴史〉〔神谷忠孝・平原一良〕

◆20世紀への胎動 久保栄「五稜郭血書全5幕」自筆原稿、北方謙三「林蔵の貌」自筆原稿、高倉新一郎「札幌農学校」 ◆助走期の苦闘 有島武郎・木田金次郎宛書簡、武者小路実篤「武郎さんと僕」自筆原稿、雑誌「白樺」 ◆漂泊と彷徨 国木田独歩「欺かざるの記」複製原稿、幸田露伴「二日物語 此一日」複製原稿、石川啄木「雲は天才である」複製原稿 ◆道産子作家の誕生 武林無想庵「アルバム」自筆原稿、森田たま「きもの博士」自筆原稿、中戸川吉二・久米艶子宛書簡 ◆逆流のさなかで 小林多喜二「故里の顔」複製原稿、久保栄「火山灰地」自筆原稿、本庄陸男「逆流」自筆原稿 ◆モダニズムの台頭 伊藤整「文化的青春伝」自筆原稿、中村武羅夫自筆色紙、岡田三郎「かぼちゃ談義」自筆原稿 ◆戦火の中で 辻村もと子「馬追原野」自筆原稿、石塚喜久三「花の海」自筆原稿、坂本直行自筆カット原画 ◆復興と再生 畠柳二美「こぶしの花の咲くころ」自筆原稿、風巻景次郎「札幌地理学」複製原稿、船山馨遺品 ◆成長期の精華 雑誌「北海道文学」(原田康子「挽歌」掲載)、和田芳恵「五十年ぶりの帰郷」自筆原稿、李恢成自筆色紙、三浦綾子短冊(三浦光世筆) ◆変転する現代 高橋揆一郎「『伸予』覚え書き」自筆原稿、吉村昭「赤い人」自筆原稿、渡辺淳一「リラ冷えの街」自筆原稿

〈北海道の詩〉〔原子修〕

◆「現代の詩」の創造に挑んだ〈風の詩人〉たち 吉田一穂「魚歌」自筆扁額、小熊秀雄画「裸婦」 ◆「現代の詩」を北の大地に根づかせた〈土の詩人〉たち 更科源蔵「河童十二ヶ月」複製原稿、和田徹三「命」自筆原稿、河邨文一郎「オホーツク」自筆原稿 ◆「現代の詩」の新しい可能性を求めて 原子修自筆色紙

〈北海道の短歌〉〔内田弘〕

◆北海道歌壇の動き 小田觀螢、並木凡平、酒井廣治、山下秀之助、伊東音次郎 ◆北海道歌人会 その主な活動 ◆歌人達の揮毫 野原水嶺、芥子澤新之介、小田觀螢、宮西頼母、川村濤人、樋口賢治 ◆北海道を詠む 石川啄木、太田水穂、若山牧水、土屋文明、与謝野寛、与謝野晶子、斎藤茂吉、佐藤佐太郎、橋本徳寿、宮柊二、太田青丘、斎藤史、清原日出夫

〈北海道の俳句〉〔木村敏男〕

◆北方俳句の夜明け 松窓乙二、河東碧梧桐、牛島勝六、高浜虚子、長谷川零餘子、白田亞浪、石田雨圃子、青木郭公ほか ◆俳句近代化への潮流 萩原井泉水、泉天郎、長谷部虎杖子、唐笠何蝶、細谷源二、土岐鍊太郎、伊藤凍魚、水野波陣洞ほか ◆花ひらく北の俳句 斎藤玄、寺田京子、比良暮雪ほか ◆俳句の現代 比良暮雪、佐々木丁冬、鯨島交魚子、園田夢蒼花、山岸巨狼ほか

〈アイヌの口承文芸〉〔青柳文吉〕

金田一京助、知里真志保、久保寺逸彦、金成マツ、知里幸恵、萱野茂

〈北海道の川柳〉〔斎藤大雄〕

◆明治～昭和初期 鈴木青柳、北村白眼子、亀井花童子、神尾三休、三輪破魔杖、井上剣花坊、鶴彬、西嶋○丸、田中五呂八ほか ◆昭和後期～平成7年 西村欣童、高木夢二郎、森田一二、甲野狂水、古田八百子 ◆北海道の川柳社 道央、道南、道東、道北の各結社の活動と結社誌等を紹介

〈北海道の児童文学〉〔柴村紀代〕

◆明治～昭和20年代 伊東音次郎、支部沈黙、坪松一郎ほか ◆昭和30年代 石森延男、神沢利子、安藤美紀夫、渡辺ひろし、玉川雄介ほか ◆昭和40年代以降 加藤多一、後藤竜二、長野京子ほか

〈千島・樺太の文学〉〔木原直彦〕

夏堀正元、吉村昭、李恢成、寒川光太郎ほか

III 教育普及事業

注：「事業項目」の無印は道負担金事業、※印は財団企画事業。

事業項目		事業名	実施時期（日数）	目標観覧（参加）者数（人）	観覧（参加）者実績数（人）	備考
教育普及事業	講演会・セミナー・講話等	文芸対談「〈銀河鉄道の夜〉をめぐって」 講師：佐藤国男（版画家）、斎藤征義（詩人）	4/27(土)	80	90	「常設展プレミアム」関連事業
	〃	ギャラリートーク 講師：佐藤国男（版画家）	4/28(日) 2回	80	146	〃
	〃	文芸講演会「紙芝居の文化史」 講師：石山幸弘（紙芝居研究家）	6/2(日)	80	35	「紙芝居の今昔展」関連事業
	〃	文芸講演会「北海道にみる紙芝居の歩み」 講師：谷 映子（児童文化研究者）	6/9(日)		36	〃
	〃	お楽しみ実演会「紙芝居がやってきた！」 講師：桐越陽一（路地裏芸を楽しむ会）	5/25(土)、6/15(土)、 6/16(日) 各日3回実施		544	〃
	〃	紙芝居実演「ほっこり紙芝居タイム」 講師：ボランティアメンバー	5月～7月 9日間 各日2回実施		397	〃

事業項目	事 業 名	実施時期（日数）	目標観覧(参加)者数(人)	観覧(参加)者実績数(人)	備 考	
教育普及事業	講演会・セミナー・講話等	文芸講演会「銀の滴 降る降るまわりに」 講師：横山むつみ（銀のしずく記念館館長）	7/21(日)	82	「ファミリー文学館」関連事業	
	〃	文芸公演「カムイ・ユカラを語る」 出演：木幡サチ子（ユカラ伝承者）、松井信子（俳優）、藤村和也（北日本文化研究所代表）	8/3(土)	85	〃	
	〃	読み聞かせ「カムイの物語」 出演：札幌静修高校、札幌日大高校生徒	7月～8月 7日間 各日2回実施	146	〃	
	〃	「挿絵が僕らにくれたもの展」 オープニングセレモニー	9/7(土)	32	「挿絵が僕らにくれたもの展」 関連事業	
	〃	文芸講演会「ジブリ美術館と挿絵の楽しみ方」 講師：中島清文（三鷹の森ジブリ美術館館長）	9/7(土)	80	91	〃
	〃	ワークショップ「オリジナルのさし絵をつくろう」 講師：すずきもも（絵本作家）	9/15(日)	17	〃	
	〃	映画鑑賞会「乳房よ永遠なれ」	11/3(日)	49	「ほっこいどうの短歌100首展」関連事業	
	〃	文芸対談「記憶の向こうにある北海道」 出演：穂村弘（歌人）、山田航（歌人）	11/17(日)	80	107	〃
	〃	文芸講演会「北海道を詠う」 講師：内田弘（歌人）	11/23(土)	80	39	〃
	〃	公開歌会「若手歌人」たちによる文学館歌会」 出演：大塚亜希、岡美紗結、中村美智、樋口智子、柳澤美晴、雪舟えま	11/24(日)		68	〃
	〃	「荒巻義雄の世界展」オープニングセレモニー	2/8(土)		42	「荒巻義雄の世界展」関連事業
	〃	文芸講演会「シティー・マイスター荒巻の就任演説」 講師：荒巻義雄（作家）	2/8(土)	80	67	〃
	〃	パネル・ディスカッション「荒巻SFの原点を語る」 出演：荒巻義雄（作家）ほか3名	2/11(火)		64	〃
	〃	ニュー・ユートピア絵画展表彰式	2/22(土)		62	〃
	〃	文芸対談「SFにおける都市のイメージ」 講師：荒巻義雄（作家）、松橋常世（建築家）	3/1(土)		61	〃
	〃	ギャラリー・ツアー「荒巻義雄の世界を語る」 講師：荒巻義雄（作家）ほか3名	3/15(土)		40	〃
	※ 朗読会	「宮沢賢治の世界I」 朗読：村井裕子 カンテレ演奏：あらひろこ	7/5(金)	60	58	
	※ 〃	「宮沢賢治の世界II」 朗読：村井裕子、藪淳一 二胡演奏：阿部彩子	10/4(金)	60	54	
	※ 月例朗読会	朗読：ボランティアグループ「蔵」ほか	年10回	500	671	
	※ ウィークエンド・カレッジ	児童文学創作教室、川柳教室等 6講座43講義	5～3月の金、土	300	358	
	※ ロビーコンサート	音楽の花束（演奏：明葉みゆきほか3名）	11/1(金)	60	37	
	文学道場	「中・高生のための創作講座」	7/31(水)～ 8/2(金)	20	30	
	小・中学生短歌コンテスト	夏休み期間中、小・中学生を対象に作品を募集し、優秀作品を表彰	11/1(金)～ 12/8(日)	1,500	3,712	
	〃	小・中学生短歌コンテスト表彰式	11/16(土)		60	
	フアミリー文学館	ワークシート	7/20(土)～ 8/25(日)		1,794	「ファミリー文学館」関連事業
	※ わくわくこどもランド	紙芝居、読み聞かせ、工作教室などに親子で参加	16回開催	760	642	
	※ 文学館まつり	ギャラリー文学館、文学館演芸場、こども広場、秋のミニ色紙づくりなど	9/23(月)	200	576	
	映画鑑賞会	「丹下左膳餘話 百萬両の壺」	5/12(日)	80	68	
	映画鑑賞会	「蟹工船」	7/14(日)	80	117	
	映画鑑賞会	「イルカと少年」	8/25(日)	80	47	
	映画鑑賞会	「シンドバッド7回目の航海」	10/6(日)	80	30	
	映画鑑賞会	「おとうと」	12/1(日)	80	72	
	映画鑑賞会	「宇宙戦争」	2/16(日)	80	38	
	市町村連携事業 「文学館出前講座」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催した。	20市町村22会場	1,500	1,432	
	市町村連携事業 「ミニ巡回展」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催した。	1市町村1会場		382	
	文字・活字文化の振興事業	「斎藤潤・斎藤史の旭川時代」 講師：西勝洋一（現代歌人協会会員）	11/10(日)	80	44	
	※ 文化施設連携事業	「カルチャーナイト2013」 展示室の夜間開館等を実施	7/19(金)	200	607	
	※ 〃	札幌市生涯学習振興財団（ちえりあ）と協働で ワークショップ「ブックトークをやってみよう！」を実施	3/9(日)		10	
	※ 地域連携事業	中島公園文化施設連携事業 (キタラでの絵本読み聞かせ)	5/3(金)～4(土)		121	
	※ 地域連携事業	中島公園文化施設連携事業 (かもくま祭で絵本読み聞かせ)	6/30(日)		28	
	※ 文化公演の活動	コンサート、朗読会の会場に利用	閉館後の夜間	300	727	
	文学資料の利用	閲覧室での研究、調査、読書等	通年（305日間）	4,000	4,575	
	文学愛好団体の活動	文学愛好団体が講堂利用（貸館）	通年（271日間）		1,959	
	※ 小学生向け事業	「文学館たんけんクイズ」	通年（271日間）		152	
教育普及事業参加者 計					10,580	20,701

IV 北海道文学に関する調査研究事業

- ① 常設展プレミアム「木版画家・佐藤国男による宮沢賢治ワールド」関連資料調査
- ② 特別展「紙芝居の今昔展」関連資料調査
- ③ ファミリー文学館「絵本・カムイの物語」関連資料調査
- ④ 特別展「挿絵が僕らにくれたもの展」関連資料調査
- ⑤ 特別展「ほっかいどうの短歌 100 首展」関連資料調査
- ⑥ 特別展「荒巻義雄の世界展」関連資料調査
- ⑦ 特別展の図録作成に要する調査
- ⑧ 次年度の特別展「氷点 50 年展」関連資料調査
- ⑨ 次年度の特別展「手から手へ展」関連資料調査
- ⑩ 次年度ファミリー文学館の関連資料調査
- ⑪ 次年度の特別展「ムーミンの世界展」関連資料調査
- ⑫ 次年度の特別展「小樽山博の世界展」関連資料調査

V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業

次の団体の事業に対して、後援名義並びに共催名義の使用を承認して支援した。

- ① フレット倶楽部
東日本大震災被災地復興応援ギターとマンドリンによるチャリティーコンサート
(平成 25 年 4 月 27 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ② 中川町教育委員会
齊藤茂吉記念第 20 回中川町短歌フェスティバル
(平成 25 年 6 月 1 日～10 月 31 日 中川町)
- ③ フレット倶楽部
東日本大震災被災地復興応援ギターとマンドリンによるコンサート
(平成 25 年 6 月 2 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ④ 國松竜次ギターコンサート実行委員会
國松竜次ギターコンサート
(平成 25 年 7 月 20 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑤ 角圭司ギターコンサート実行委員会
角圭司ギターコンサート
(平成 25 年 8 月 6 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑥ フレット倶楽部
東日本大震災被災地復興応援ギターとマンドリンによるコンサート
(平成 25 年 8 月 23 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑦ 藤元高輝ギターコンサート実行委員会
藤元高輝ギターコンサート
(平成 25 年 8 月 31 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑧ 北海道新聞社
直木賞受賞記念 桜木紫乃講演会「北で書く 北で描く」
(平成 25 年 9 月 5 日 道新ホール)
- ⑨ ほるちか企画
宮沢賢治＊銀河鉄道をめぐる冒険
(平成 25 年 9 月 7 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑩ ボランティアグループいりばた
いりばたの大人が楽しむおはなし会
(平成 25 年 9 月 8 日 北海道立文学館講堂)
- ⑪ 茶廊法邑、法邑美智子、法邑芸術文化振興会 水崎呈
朗読と縄文太鼓の夕べ
(平成 25 年 9 月 13 日 北海道立文学館地階ロビー)

- ⑫ 北海道学校図書館協会
ノンフィクション作家 今西乃子講演会
(平成 25 年 9 月 22 日 北海道立文学館講堂)
- ⑬ 井上仁一郎ギターリサイタル実行委員会
井上仁一郎ギターリサイタル
(平成 25 年 10 月 11 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑭ NHK 文化センター朗読教室松井信子クラス
北海道ゆかりの文学を読む朗読会
(平成 25 年 10 月 20 日 北海道立文学館講堂)
- ⑮ フレット倶楽部
東日本大震災被災地復興応援ギターとマンドリンによるコンサート
(平成 25 年 10 月 27 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑯ 特定非営利法人絵本児童文学研究センター
第 18 回文化セミナー「こどもの宇宙」をみつめる——河合隼雄の遺したもの——
(平成 25 年 11 月 17 日 小樽市民会館)
- ⑰ 公益財団法人札幌生涯学習振興財団
さっぽろ市民カレッジ 2014 冬期講座「ブックトークをやってみよう」
(平成 26 年 3 月 9 日 北海道立文学館講堂)
- ⑱ さっぽろ大学熊谷ユリヤ研究室
追悼と癒やしの詩
(平成 26 年 3 月 10 日 エルプラザ大研修室)
- ⑲ チャリティー朗読会「連声」実行委員会
チャリティー朗読会「連声」
(平成 26 年 3 月 11 日 北海道立文学館講堂)
- ⑳ ボランティアグループいろりばた
いろりばたの大人が楽しむおはなし会
(平成 26 年 3 月 23 日 北海道立文学館講堂)

VI 啓発広報事業

- ① 事業案内、各展覧会ポスター・ちらし及び講演会・セミナーちらし等を制作・発行し、道内外の文学館、道内の博物館や図書館、札幌市内の地区センター、区民センター、カルチャーセンター、主要ホテル、観光案内所等に配布した。又、JR 札幌駅、地下鉄各駅構内にポスターの掲示を行った。更に、展覧会の開催を PR するため、TV 及び新聞紙上で有料広告を行った。
- ② 「北海道文学館報」第 93 号（5 月 15 日付）、第 94 号（8 月 26 日付）、第 95 号（11 月 22 日付）、第 96 号（2 月 27 日付）を発行した。

VII 刊行物の刊行事業

- ① 特別展「ほっかいどうの短歌 100 首展」図録の刊行
- ② 特別展「荒巻義雄の世界展」図録の刊行
- ③ 「平成 24 年度年報」の刊行
- ④ 「資料情報と研究 2013」の刊行

VIII その他の付帯事業

- ① 「北海道文学大事典」（補遺版）の編集作業
標記補遺版（人名編）の編集作業を行い、書名を「北の表現者たち 2014」とし、サブタイトルに「北海道文学大事典補遺」といれて刊行した。
- ② 博物館実習生の受入
博物館実習生 -16 名（受入期間 5 月～2 月。実習期間 2 週間）

■ 統計・資料 ■

I 平成 25 年度 展覧会別観覧状況

単位：名

区分	常設展	特別展					計	
	北海道の文学	紙芝居の今昔展	ファミリー文学館	挿絵が僕らにくれたもの展	ほっかいどうの短歌100首	荒巻義雄の世界展		
開催日数	271	38	32	38	39	38		
個人有料	一般	1,610	613		4,711	243	707	7,884
	高大生	118	45		541	9	42	755
	小中生				334		25	359
	小計	1,728	658	0	5,586	252	774	8,998
	一般	723	170		893	75	95	1,956
	高大生	91	9		165	6	17	288
	小中生				18			18
	小計	814	179	0	1,076	81	112	2,262
免除・招待	9,746	1,423	2,096	1,570	1,257	719	16,811	
観覧者総数	12,288	2,260	2,096	8,232	1,590	1,605	28,071	

II 平成 25 年度 事業別利用状況

単位：名

区分	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
		常設展	1,190	1,481	854	1,072	760	1,300	1,183	998	340	0	467	539	
展覧会事業	常設展プレミアム「宮沢賢治ワールド」	1,036	1,068											2,104	
	紙芝居の今昔展		275	1,466	519									2,260	
	ファミリー文学館				764	1,332								2,096	
	挿絵がぼくらにくれたもの展						4,180	4,052						8,232	
	ほっかいどうの短歌100首展								1,210	380				1,590	
	荒巻義雄の世界展										608	997	1,605		
														0	
	小計	2,226	2,824	2,320	2,355	2,092	5,480	5,235	2,208	720	0	1,075	1,536	28,071	
負担金事業	講演会・セミナー・講話等	236	90	836	235	164	140		307			235	101	2,344	
	地域連携事業 「文学館出前講座」	49	73	237	201	368	10	231	120	100		43		1,432	
	ミニ巡回展					340	42							382	
	ファミリー文学館 (ワークショップ、短歌コンテスト等)				612	1,182		3,712	60					5,566	
	映画鑑賞会		68		117	47		30		72		38		372	
	文学道場				10	20								30	
	協働事業										22			22	
	愛好団体の文学活動	27	186	46	141	12	406	570	142	10		73	346	1,959	
教育普及事業	資料閲覧・共同研究	376	427	378	385	396	461	480	441	315	287	317	312	4,575	
	小計	688	844	1,497	1,701	2,529	1,059	5,023	1,070	497	309	706	759	16,682	
	負担金事業計	2,914	3,668	3,817	4,056	4,621	6,539	10,258	3,278	1,217	309	1,781	2,295	44,753	
	講演会・セミナー・講話等													0	
	朗読会				58			54						112	
	月例朗読会		52	77	62	60	50	43	110	74		60	83	671	
	ヴィーエンド カレッジ		17	52	52	52	52	52	52	17		6	6	358	
	わくわくこどもランド		184	12	64	59	10	28	147	80		32	26	642	
財団自主事業	ロビーコンサート								37					37	
	カルチャーナイト 2013				607									607	
	文学館たんけんクイズ	11	13	18	4	12	26	53	11	0		0	4	152	
	文学館まつり（9/23）		121	28		36	576				19		10	790	
	公演（コンサート、朗読会）	46		29	12	247	266	37		90				727	
	財団自主事業計	57	387	216	859	466	980	267	357	261	19	98	129	4,096	
	ボランティアの活動状況			30	21	55	54	42	6	4	13	2	22	7	256
	その他（喫茶コーナー）	208	276	308	268	203	303	380	307	114		224	247	2,838	
	合計	3,179	4,331	4,341	5,183	5,290	7,822	10,905	3,942	1,592	328	2,103	2,671	51,943	

III 平成 25 年度 資料収集状況

収集状況

単位：点

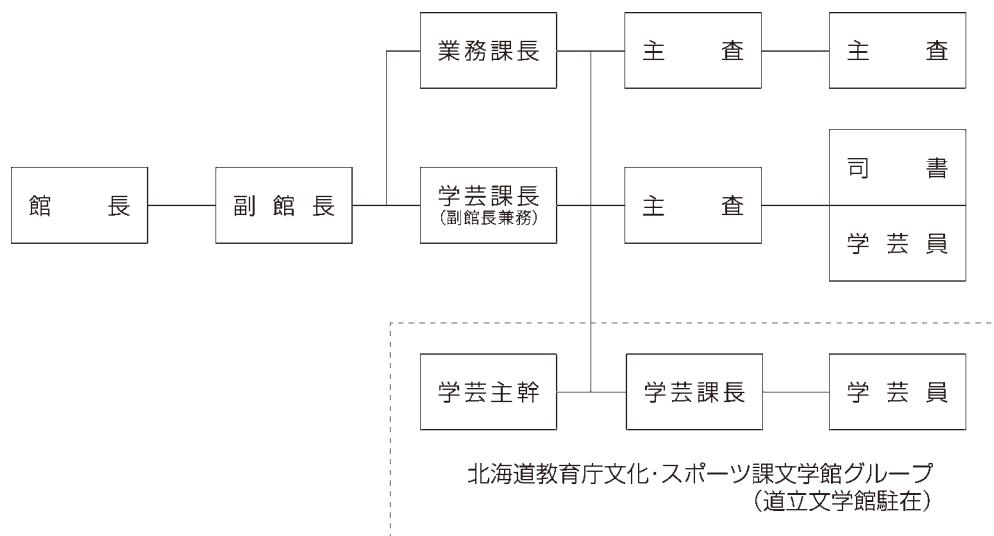
区分	購入	寄贈	合計
図書資料	551	1,140	1,691
雑誌資料	616	1,657	2,273
視聴覚・電磁資料	0	4	4
特別資料	9	118	127
計	1,176	2,919	4,095

〈主な収集特別資料一覧〉

与謝野晶子自筆色紙	1点	購入
船山馨自筆原稿「札幌遊里史考」(400字詰2枚)	1点	購入
支部沈黙自筆原稿「蟻の足あと」(400字詰140枚)	1点	購入
石森延男自筆原稿「おとつあんの歌」(400字詰88枚)	1点	購入
ぶやら新書関係資料	2点	購入
金子光晴自筆原稿「悪の華抄 序詩」(400字詰4枚)	1点	受贈
北園克衛自筆原稿「砂の手紙」(400字詰4枚)	1点	受贈
札幌詩学会関係資料	13点	受贈
河東碧梧桐自筆短冊	1点	受贈
水原秋桜子自筆短冊	1点	受贈
臼田亜浪自筆短冊	1点	受贈
巖谷小波自筆短冊	1点	受贈

■ 組織及び職員 ■

I 組織機構図



II 職 員

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

職名	氏名	職名	氏名
館長（財団副理事長）	酒向憲司	学芸課 学芸員	喜多香織
副館長（財団専務理事）	谷口孝男		
業務課長（財団常務理事）	武田和弘	北海道教育庁文化財・博物館課 文学館グループ（道立文学館駐在）	
業務課 主査	榎本幸夫	学芸主幹	佐藤幸宏
業務課 主査	佐々木孝夫	学芸課長	井内佳津恵
学芸課 主査	丹伊田範子	学芸員	浅川泰
学芸課 司書	三井沙紀		

■ そ の 他 ■

I 文学館の歩み

年 次	事 項	年 次	事 項
昭和42	北海道文学館設立総会、館報1号発行、有島武郎文学展	62	『北海道文学百景』「北海道文学絵はがき」発行、北海道文学館歩み展、北海道文学館20周年記念祝賀会および記念展、俳句誌「氷原帶」創刊40周年記念展
43	文学に見る北方風物展	63	北海道歌人会創立35周年記念展、北海道新聞文学賞展、『北海道文学読本』発行、没後30年久保栄文学展、近代日本の文豪——森鷗外展、財団法人北海道文学館設立
44	北海道旅の文学展		平成元 胆振文学展・目で見る風土と文学、俳句誌「葦牙」創刊700号記念展、北海道女流作家第一号森田たま展、北海道川柳展、作家生活25年記念三浦綾子展(札幌、旭川)
45	伊藤整・亀井勝一郎文学展	2	児童文学「新十津川物語」展(札幌、新十津川)、移動展・石川啄木と野口雨情展、文化情報誌「ニュースきょうどう・カムイミンタラ」展、歌誌「新墾」創刊60周年記念展、北のロマンを奏でる——渡辺淳一文学展、市町村文芸誌展——道東・道北編
46	北海道詩歌展	3	市町村文芸誌展——道央・道南編、移動展・石森延男と室蘭の児童文学展、文学展・北海道花の歳時記、来道60年記念斎藤茂吉展、文芸誌「赤煉瓦」とその周辺展
47	目で見る札幌文学散歩	4	設立25周年記念・有島武郎と木田金次郎展、北電文化誌「フロンティア」著名作家原稿展、文学展・北海道花の歳時記(室蘭)、北の文学風物誌展(冬の巻)、らいらっく文学賞展
48	藤村における旅資料展、久保栄文学展、札幌の文学・百年展	5	俳句誌「アカシヤ」500号記念展、札幌文学散歩展、没後25年・道立文学館着工記念伊藤整文学展、北海道詩人協会40周年記念展
49	文学にみる札幌風物展、北海道女流文学展、小田観螢・人と作品展	6	文学・北の歳時記展、文学展・札沼線沿線の旅、北の山と文学展、和田謹吾理事長死去
50	札幌の作家展(戦前の巻)、戦後30年・北海道文学展、札幌の作家展(戦後の巻)、川柳に見る戦後の札幌展	7	澤田誠一理事長就任 北海道立文学館開館記念特別展・北の夜明け、所蔵品展・私の愛した抒情詩人たち
51	碑にみる北の文学展、林不忘・長谷川四郎兄弟展、石狩川流域文学展、歌人・山下秀之助展	8	特別企画展・北海道の俳句、特別企画展・久保栄と北海道、所蔵品展・船山馨の文学世界
52	札幌の文学サークル展、文学展・北の海、札幌・戦後演劇展	9	特別企画展・森田たまと素木しづ、特別企画展・青春と文学、所蔵品展・書簡に探る作家の素顔
53	文学展・ふるさとの窓、北海道児童文学展、さっぽろの俳句展	10	特別企画展・北海道の短歌、特別企画展・有島武郎とヨーロッパ、企画展・吉田一穂
54	札幌市資料館に館看板掲示、現代北海道短歌展、風土のなかの文学碑展、『北海道文学地図』発行		
55	現代北海道俳句展、北海道岬文学展、児童文学と絵日記展——石森延男・その周辺——		
56	雑誌「北方文芸」展、石森延男児童文学展、館所蔵文芸雑誌閲覧開始、北海道岬・文学展、高橋留治氏から3000余冊の詩書等寄贈、北海道文学全集展		
57	島木健作文学展、船山馨文学展、北海道・湖文学展、鮫島交魚子・加藤愛夫文学展		
58	寺田京子・宮田益子・森みつ三人展、文学展・大地と人間、にんげん坂本直行展——その絵と文学——		
59	北海道児童文学全集展、北海道演劇資料展		
60	北海道文学展示室が常設展に移行、北海道俳句展、北原白秋展、文学にみる北方風物展、更科源蔵初代理事長死去、『北海道文学大事典』発行、地域文化功労者賞受賞		
61	日本の文学館風景展、和田謹吾理事長就任、歌誌「原始林」40周年記念展、「石川啄木と野口雨情」文学風物展、石森延男と札幌の児童文学展、詩誌「核」30周年記念展		

年 次	事 項	年 次	事 項
	とその時代		挿画～、企画展・遊んで学んだ、あの時代。新発見！100年前の児童雑誌、企画展・探求者の魂～山田昭夫の書齋から～
11	特別企画展・夏目漱石と芥川龍之介、特別企画展・〈本〉はどこに向かうのか、所蔵品展・本庄陸男と『石狩川』	20	特別企画展・詩の黄金の庭 吉増剛造展、企画展・馬たちがいた 加藤多一と北の風景、企画展・鳥のことば・人のことば 加藤幸子の見つめる世界、企画展・文学の鬼を志す一八木義徳
12	特別企画展・挿絵と装幀の小宇宙、特別企画展・「北緯五十度」の詩人たち、企画展・花咲く北の川柳展	21	常設展プレミアム・特集「フロンティア」—60～70年代の北海道、特別企画展・没後10年…三浦綾子／いのちへの愛、企画展・語り、継ぐ。—アイヌ口承文芸の世界、企画展・サハリンを読む—遙か〔樺太〕の記憶、企画展・藤倉英幸と旅のイメージ
13	特別企画展・夢の世界のおくりもの～アンデルセン童話・絵本原画展～、特別企画展・100年目の小熊秀雄～20世紀詩のアヴァンギャルド～、企画展・映画ポスターに見る北海道の文学	22	常設展プレミアム・日本人の遺書、常設展プレミアム・《川柳王国》北海道の軌跡、特別展・蘭繁之の手仕事～“美”にこだわった津軽の奇才、特別展・北斎漫画展～伝承版木が伝える江戸の出版文化、ファミリー文学館・開いてびっくり！しきけ絵本展、特別展・吉村昭と北海道～歴史を旅する作家のまなざし
14	神谷忠孝理事長就任、特別企画展・寺山修司展～テラヤマ・ワールド—きらめく闇の宇宙～、特別企画展・大自然に抱擁されて～知里幸恵『アイヌ神謡集』の世界へ～、企画展・中沢茂“ひとりの賑やかさ”～根室と霧と芸術家たち～	23	特別展・追悼・後藤竜二展～子どもたちへの応援歌～高田三郎・小泉るみ子兄妹展、特別展・日は過ぎ去って僕のみは～福永武彦、魂の旅～、ファミリー文学館・絵本の原画を運ぼう！～現代版北前船の旅 あべ弘士「かちかち山」、特別展・赤色エレジーから小梅の初恋～林静一展、常設展プレミアム・森田たまの交友録～書簡にみる文学者たちの筆跡、特別展・李恢成の文学
15	特別企画展・生誕100年記念 林芙美子展 特別企画展・函館—青森海峡浪漫～北の20世紀～を紡いだ作家たち～、企画展・詩人百田宗治の戦後～北海道に残したもの～	24	常設展プレミアム・書物の美～明治・大正期の詩集～、特別展・いせひでこ・絵本の世界～私の木、心の木、ファミリー文学館幻想文学館 文豪たちのこわ～い話、特別展・新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界、特別展・戦後北海道の演劇、特別展・高橋揆一郎の文学
16	特別企画展・写真家掛川源一郎の20世紀 特別企画展・更科源蔵生誕100年 北の原野の物語、企画展・アイヌ語地名を歩く—山田秀三の地名研究から—、企画展・仙花紙からの出発～雑誌に見る「戦後」の姿、企画展・北の風土の批評精神 発生と展開～風巻景次郎から小笠原克へ～	25	常設展プレミアム・木版画家・佐藤国男による宮沢賢治ワールド、特別展・紙芝居の今昔、ファミリー文学館 絵本・カムイの物語、特別展・挿絵が僕らにくれたもの—ジブリが読み解く“通俗文化の源流”—、特別展・ほっかいどうの短歌100首、特別展・荒巻義雄の世界—都市型宇宙船ニュー・ユートピア・シティにむかって
17	企画展・現代少年少女詩・童謡詩展、特別企画展・神沢利子の世界～北を想う・北を描く～、特別企画展・原田康子の北海道～小説「挽歌」から50年～、企画展・サハリン追跡～残留朝鮮人の軌跡、ファミリー文学館・春を待つ子どもたち～いわさきちひろ複製画展～		
18	特別企画展・石川啄木～貧苦と挫折を超えて～、特別企画展・池澤夏樹のトポス～旅する作家と世界の出会い～、企画展・人生を奏でる二組のデュオ～有島武郎と木田金次郎・里見弾と中戸川吉二～、企画展・写・文交響～写真家・綿引幸造の世界から～、企画展・〈デルス・ウザーラ〉絵物語展、企画展・書房の余滴～中山周三旧蔵資料から～		
19	特別企画展・太宰治の青春～津島修治であったころ～、特別企画展・目で識る川柳250年展・併設：北海道川柳の流れ、企画展・父・船山馨のDNA～船山滋生の彫刻と		

II 諸会議・運営日誌

平成 25 年

- 4月3日（水） 文学館出前講座（伊達市、講師：森 一生）
4月12日（金） 常設展プレミアム「木版画家・佐藤国男による宮沢賢治ワールド」オープン（～5月12日）
4月27日（土） 文芸対談「〈銀河鉄道の夜〉をめぐって」（講師：佐藤国男、齊藤征義）
4月27日（土） 公演「東日本大震災被災地復興チャリティーコンサート」
4月28日（日） ギャラリートーク「宮沢賢治とゴッホ」（講師：佐藤国男）
5月5日（日） わくわくこどもランド（子どもの日スペシャル「人形劇」）
5月5日（日） わくわくこどもランド（子どもの日手作りコーナー「こいのぼりをつくろう！」）
5月9日（木） 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
5月12日（日） 映画鑑賞会「丹下左膳餘話 百萬両の壺」
5月12日（日） 文学館出前講座（音更町、講師：岸田典大）
5月15日（水） 文学館出前講座（札幌市、講師：岸田典大）
5月17日（金） 監事監査（財団）
5月17日（金） ウィークエンド・カレッジ（児童文学創作教室、講師：柴村紀代）
5月25日（土） 特別展「紙芝居の今昔」オープン（～7月7日）
5月25日（土） お楽しみ実演会「紙芝居がやってきた！」（講師：桐越陽一）
5月25日（土） ウィークエンド・カレッジ（愉快に川柳教室II、講師：岡崎 守）
5月26日（日） ほっこり紙芝居タイム
5月31日（金） 第1回運営検討委員会（財団）
6月1日（土） ほっこり紙芝居タイム
6月1日（土） わくわくこどもランド（絵本の読み聞かせ）
6月2日（日） 文芸講演会「紙芝居の文化史——娯楽と教育の狭間で——」（講師：石山幸弘）
6月2日（日） 公演「東日本大震災被災地復興チャリティーコンサート」
6月7日（金） 第1回理事会（財団）
6月8日（土） ほっこり紙芝居タイム
6月8日（土） ウィークエンド・カレッジ（北を詠う——来道歌人の歌そして人、講師：内田 弘）
6月9日（日） 文芸講演会「北海道にみる紙芝居の歩み——戦時、戦後の紙芝居を」（講師：谷 曜子）
6月12日（水） 全国博物館長会議（文部科学省・館長出席）
6月13日（木） 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
6月14日（金） 全国文学館協議会（近代文学館・副館長出席）
6月14日（金） 文学館出前講座（喜茂別町、講師：田村英一、佐藤洋一）
6月15日（土） 文学館出前講座（浦幌町、講師：岸田典大）
6月15日（土） お楽しみ実演会「紙芝居がやってきた！」（講師：桐越陽一）
6月15日（土） ウィークエンド・カレッジ（韓国の文化を楽しむ、講師：梶谷 崇）
6月15日（土） ウィークエンド・カレッジ（北海道文学館所蔵資料解説、講師：神谷忠孝）
6月16日（日） お楽しみ実演会「紙芝居がやってきた！」（講師：桐越陽一）
6月21日（金） ウィークエンド・カレッジ（児童文学創作教室、講師：三浦幸司）
6月22日（土） ウィークエンド・カレッジ（愉快に川柳教室II、講師：岡崎 守）
6月22日（土） ウィークエンド・カレッジ（生涯読書会 続・島崎藤村『夜明け前』を読み切る、講師：工藤正廣）
6月22日（土） ほっこり紙芝居タイム
6月23日（日） ほっこり紙芝居タイム
6月26日（水） 定時評議員会（財団）
6月28日（金） 臨時理事会（財団）
6月27日（木） 文学館出前講座（歌志内市、講師：齊藤征義）
6月29日（土） ほっこり紙芝居タイム
6月30日（日） ほっこり紙芝居タイム
7月5日（金） 朗読会「宮沢賢治の世界I」（出演：村井裕子、あらひろこ）
7月5日（金） 文学館出前講座（遠別町、講師：岸田典大）
7月6日（土） ほっこり紙芝居タイム
7月6日（土） わくわくこどもランド（絵本の読み聞かせ）
7月7日（日） ほっこり紙芝居タイム
7月11日（木） 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
7月13日（土） ウィークエンド・カレッジ（北を詠う——来道歌人の歌そして人、講師：内田 弘）
7月14日（日） 映画上映会「蟹工船」
7月15日（月） 文学館出前講座（芽室町、講師：田村英一、佐藤洋一）
7月19日（金） ウィークエンド・カレッジ（児童文学創作教室、講師：三浦幸司）
7月19日（金） カルチャーナイト2013（常設展の時間延長、ファミリー文学館プレオープン、たそがれ俳句吟行会、古書バザール、ミニ色紙づくり、コーラス・朗読会、絵本の読み聞かせ）
7月20日（土） ファミリー文学館「絵本・カムイの物語」オープン（～8月25日）
7月20日（土） ウィークエンド・カレッジ（韓国の文化を楽しむ、講師：梶谷 崇）
7月20日（土） ウィークエンド・カレッジ（北海道文学館所蔵資料解説、講師：喜多香織）
7月20日（土） 公演「國松竜次ギターコンサート」
7月21日（日） 文芸講演会「銀の滴 降る降るまわりに」（講師：横山むつみ、朗読：松井信子）

7月27日（土）読み聞かせ「カムイの物語」
7月27日（土）ウイークエンド・カレッジ（愉快に川柳教室II、講師：岡崎 守）
7月27日（土）ウイークエンド・カレッジ（生涯読書会 続・島崎藤村『夜明け前』を読み切る、講師：工藤正廣）
7月28日（日）わくわくこどもランド（手作り教室「うちわをつくろう！」）
7月28日（日）わくわくこどもランド（手作り教室「動物園をつくろう！」）
7月28日（日）読み聞かせ「カムイの物語」
7月28日（日）文学館出前講座（厚岸町、講師：いいだともき）
7月31日（水）夏休み文学道場「中・高生のための創作講座」、講師：小路幸也（～8月2日）
8月2日（金）文学館出前講座（佐呂間町、講師：喜多香織）
8月2日（金）公演「ドレクスキップ北欧の音楽コンサート」
8月3日（土）わくわくこどもランド（夏休みスペシャル「絵本の読み聞かせとアフリカンドラム」）
8月3日（土）文芸公演「銀の滴 降る降る降るまわりに——カムイ・ユカラを語る」（出演：木幡サチ子、松井信子、藤村久和）
8月4日（日）読み聞かせ「カムイの物語」
8月6日（火）わくわくこどもランド（手作り教室「紙芝居をつくろう！」）
8月6日（火）公演「角谷圭司ギターコンサート」
8月7日（水）わくわくこどもランド（手作り教室「紙芝居をつくろう！」）
8月8日（木）月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
8月8日（木）文学館出前講座（幌延町、講師：クレヨンカンパニー）
8月9日（金）長期休業期間における指導者研修
8月9日（金）公演「アイヌアートプロジェクトライブ」
8月10日（土）ウイークエンド・カレッジ（北を詠う——来道歌人の歌そして人、講師：内田 弘）
8月10日（土）読み聞かせ「カムイの物語」
8月10日（土）公演「心のコンサート」
8月11日（日）読み聞かせ「カムイの物語」
8月17日（土）読み聞かせ「カムイの物語」
8月18日（日）読み聞かせ「カムイの物語」
8月21日（水）ミニ巡回展「文豪たちのこわ~い話」（～9月3日、礼文町）
8月21日（水）「文豪たちのこわ~い話」セミナー（講師：新明英仁）
8月23日（金）ウイークエンド・カレッジ（児童文学創作教室、講師：三浦幸司）
8月23日（金）公演「東日本大震災被災地復興チャリティーコンサート」
8月24日（土）ウイークエンド・カレッジ（愉快に川柳教室II、講師：岡崎 守）
8月24日（土）ウイークエンド・カレッジ（生涯読書会 続・島崎藤村『夜明け前』を読み切る、講師：工藤正廣）
8月24日（土）文学館出前講座（愛別町、講師：当館職員とボランティア）
8月25日（日）映画上映会「イルカと少年」
8月27日（火）文学館出前講座（由仁町、講師：神谷忠孝）
8月30日（金）第1回企画検討委員会（財団）
8月31日（土）ウイークエンド・カレッジ（韓国の文化を楽しむ、講師：梶谷 崇）
8月31日（土）ウイークエンド・カレッジ（北海道文学館所蔵資料解説、講師：浅川 泰）
8月31日（土）公演「藤元高輝ギターコンサート」
9月1日（日）公演「しの笛コンサート」
9月6日（金）理事協議会（財団）
9月7日（土）特別展「挿絵が僕らにくれたもの——ジブリが読み解く“通俗文化の源流”——」オープン（～10月20日）
9月7日（土）わくわくこどもランド（絵本の読み聞かせ）
9月7日（土）文芸講演会「ジブリ美術館と挿絵の楽しみ方」（講師：中島清文）
9月7日（土）公演「朗読と音楽——宮沢賢治～銀河鉄道をめぐる冒險」
9月12日（木）月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
9月13日（金）公演「朗読と縄文太鼓のタペ」
9月14日（土）ウイークエンド・カレッジ（北を詠う——来道歌人の歌そして人、講師：内田 弘）
9月14日（土）「江原光太さんを偲ぶ会」
9月15日（日）ワークショップ「オリジナルのさし絵をつくろう！」（講師：すずきもも）
9月20日（金）ウイークエンド・カレッジ（児童文学創作教室、講師：升井純子）
9月21日（土）ウイークエンド・カレッジ（北海道文学館所蔵資料解説、講師：平原一良）
9月22日（日）公演「今西乃子講演会」
9月23日（月）文学館まつり（常設展の無料開放、ギャラリー文学館、文学館演芸場、一日限りの資料公開、秋のミニ色紙作り、こども広場）
文学館出前講座（苦前町、講師：平原一良）
9月26日（木）ウイークエンド・カレッジ（韓国の文化を楽しむ、講師：梶谷 崇）
9月28日（土）ウイークエンド・カレッジ（愉快に川柳教室II、講師：岡崎 守）
9月28日（土）ウイークエンド・カレッジ（生涯読書会 続・島崎藤村『夜明け前』を読み切る、講師：工藤正廣）
10月3日（木）文学館出前講座（雨竜町、講師：齊藤征義）
10月4日（金）朗読会「宮沢賢治の世界II」（出演：村井裕子、藪 淳一、阿部彩子）
10月5日（土）わくわくこどもランド（絵本の読み聞かせ）

10月 6 日 (日) 映画鑑賞会「シンドバッド 7回目の航海」
10月 9 日 (水) 文学館出前講座 (木古内町、講師: 平原一良)
10月10日 (木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
10月11日 (金) 公演「井上仁一郎ギターコンサート」
10月12日 (土) 文学館出前講座 (由仁町、講師: 源 鬼彦)
10月18日 (金) ウィークエンド・カレッジ (児童文学創作教室、講師: 升井純子)
10月19日 (土) ウィークエンド・カレッジ (韓国の文化を楽しむ、講師: 梶谷 崇)
10月19日 (土) ウィークエンド・カレッジ (北海道文学館所蔵資料解説、講師: 平原一良)
10月25日 (金) 文学館出前講座 (千歳市、講師: クレヨンカンパニー)
10月26日 (土) ウィークエンド・カレッジ (北を詠う——来道歌人の歌そして人、講師: 内田 弘)
10月26日 (土) ウィークエンド・カレッジ (愉快に川柳教室II、講師: 岡崎 守)
10月26日 (土) ウィークエンド・カレッジ (生涯読書会 続・島崎藤村『夜明け前』を読み切る、講師: 工藤正廣)
10月27日 (日) 公演「東日本大震災被災地復興チャリティーコンサート」
11月 1 日 (金) 特別展「ほっかいどうの短歌 100首」オープン (～12月 8日)
11月 1 日 (金) ロビーコンサート「音楽の花束～いにしえの響き・心のうた」(出演: 明栄みゆき、一鐵久美子、鷗崎路子、藤田淳子、富岡雅美)
11月 2 日 (土) わくわくこどもランド (秋のスペシャル「人形劇」)
11月 3 日 (日) 映画鑑賞会「乳房よ永遠なれ」
11月 7 日 (木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
11月 9 日 (土) ウィークエンド・カレッジ (北を詠う——来道歌人の歌そして人、講師: 内田 弘)
11月10日 (日) 文字活字の日関連講演会「斎藤潤・斎藤史の旭川時代」(講師: 西勝洋一)
11月15日 (金) ウィークエンド・カレッジ (児童文学創作教室、講師: 升井純子)
11月16日 (土) 小中学生短歌コンテスト表彰式
11月16日 (土) ウィークエンド・カレッジ (韓国の文化を楽しむ、講師: 梶谷 崇)
11月16日 (土) ウィークエンド・カレッジ (北海道文学館所蔵資料解説、講師: 安高誠吾)
11月16日 (土) 文学館出前講座 (福島町、講師: 岸田典大)
11月17日 (日) 文芸対談「記憶の向こうにある北海道」(出演: 穂村 弘、山田 航)
11月23日 (土) 文芸講演会「北海道を詠う」(講師: 内田 弘)
11月24日 (日) 公開歌会「若手女性歌人たちによる文学館歌会」(司会: 山田 航、詠み手: 大塚亜希、岡美紗緒、中村美智、樋口智子、柳澤美晴、雪舟えま)
11月30日 (土) ウィークエンド・カレッジ (愉快に川柳教室II、講師: 岡崎 守)
11月30日 (土) ウィークエンド・カレッジ (生涯読書会 続・島崎藤村『夜明け前』を読み切る、講師: 工藤正廣)
12月 1 日 (日) 映画鑑賞会「おとうと」
12月 1 日 (日) ミニ巡回展「蘭繁之の手仕事」(～1月 31日、江別市、北海道立図書館)
12月 7 日 (土) ウィークエンド・カレッジ (愉快に川柳教室II、講師: 岡崎 守)
12月 8 日 (日) わくわくこどもランド (手作り教室「ツリーをつくろう！」)
12月12日 (木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
12月13日 (金) ウィークエンド・カレッジ (児童文学創作教室、講師: 升井純子)
12月13日 (金) 文学館出前講座 (札幌市、講師: あべ弘士)
12月14日 (土) わくわくこどもランド (クリスマススペシャル「ペーパーシャターなど」)
12月14日 (土) 公演「マリオネットマンドリンコンサート」
平成 26 年
1月 8 日 (水) 長期休業期間における指導者研修
1月25日 (土) 生きる力を育む読書活動ネットワークフォーラム～幼児・小学生向け文学館ツアー
2月 1 日 (土) わくわくこどもランド (絵本の読み聞かせ)
2月 8 日 (土) 特別展「荒巻義雄の世界——都市型宇宙船ニュー・ユートピア・シティーにむかって」
2月 8 日 (土) オープン (～3月 23日)
2月11日 (火) 文芸講演会「シティー・マスター荒巻の就任演説」(講師: 荒巻義雄)
2月13日 (木) パネル・ディスカッション「荒巻SFの原点を語る」(出演: 荒巻義雄、巽 孝之、小谷真理、タヤンディエー・ドゥニ)
2月16日 (日) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
2月21日 (金) 映画鑑賞会「宇宙戦争」
2月22日 (土) ウィークエンド・カレッジ (児童文学創作教室、講師: 加藤多一)
2月22日 (土) ユートピア絵画展表彰式
2月22日 (土) 文学館出前講座 (苫小牧市、講師: 内田 弘)
3月 1 日 (土) 文芸対談「SFにおける都市のイメージ」(出演: 荒巻義雄、松橋常世)
3月 1 日 (土) わくわくこどもランド (絵本の読み聞かせ)
3月 7 日 (金) 第2回理事会 (財団)
3月13日 (木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
3月15日 (土) ギャラリー・ツアー「荒巻義雄の世界を語る」(講師: 荒巻義雄、松橋常世、中野正一、三浦祐嗣)
3月21日 (金) ウィークエンド・カレッジ (児童文学創作教室、講師: 柴村紀代)
3月28日 (金) 第2回評議員会 (財団)

III 公益財団法人北海道文学館役員名簿

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

顧問	池澤 夏樹	加藤 幸子	木原 直彦	木村 敏男	山名 康郎	小檜山 博
〈6名〉						
参与	朝倉 賢	加藤 多一	木村真佐幸	小杉 捷七	佐々木 譲	鈴木 光彦
	高畠 二郎	藤堂志津子	永井 浩	原子 修	比良 信治	村井 宏
	村田 俊秋	八子 政信	吉田 秋陽	米坂ヒデノリ	辻脇 系一	谷 嘆子
〈18名〉						

役職員

理事長 1	神谷 忠孝	監事 1	中村 孝一	評議員 1	東 延江	評議員 25	若宮 明彦
副理事長 2	前川公美夫	// 2	野坂 幸弘	// 2	阿知良光治	// 26	五十嵐秀彦
// 3	酒向 憲司			// 3	飯塚 優子	// 27	澤田 展人
専務理事 4	谷口 孝男			// 4	石本 裕之	// 28	田湯 岬
常務理事 5	武田 和弘			// 5	植松美由紀	// 29	日浅 尚子
理事 6	内田 弘			// 6	笠井 嗣夫	// 30	三浦 幸司
// 7	岡崎 守			// 7	菊地 寛		
// 8	片山 晴夫			// 8	岸 美千代		
// 9	工藤 正廣			// 9	熊谷ユリヤ		
// 10	國松明日香			// 10	桜井 健治		
// 11	斎藤 征義			// 11	佐藤 将寛		
// 12	柴村 紀代			// 12	佐野 良二		
// 13	瀬戸 正昭			// 13	柴橋 伴夫		
// 14	立花 峰夫			// 14	高橋 秀明		
// 15	出村 文理			// 15	滝谷 泰星		
// 16	平原 一良			// 16	田口 耕平		
// 17	本田 優子			// 17	田中 綾		
// 18	源 鬼彦			// 18	中澤千磨夫		
// 19	森 一生			// 19	中館 寛隆		
// 20	安高 誠吾			// 20	中村 三春		
// 21	和田 由美			// 21	橋本 征子		
22				// 22	平野 温美		
				// 23	松嶋 東洋		
				// 24	山崎眞紀子		

運営検討委員会

〈委員 4 名 + 副理事長 1 名〉

副理事長	前川 公美夫
理事 1	内田 弘
// 2	斎藤 征義
// 3	和田 由美
// 4	源 鬼彦

企画検討委員会

〈委員 12 名 + 副理事長 1 名〉

副理事長	前川 公美夫
理事 1	瀬戸 正昭
// 2	柴村 紀代
// 3	立花 峰夫
// 4	森 一生
評議員 5	阿知良光治
// 6	佐野 良二
// 7	五十嵐秀彦
// 8	日浅 尚子
// 9	松嶋 東洋
// 10	若宮 明彦
// 11	山崎眞紀子
// 12	(欠)

収集資料選定評価専門委員会

〈5名〉

参与 1	工藤 正廣
// 2	立花 峰夫
理事 3	出村 文理
// 4	平原 一良
// 5	(欠)

平成25年度年報（平成27年3月発行）

HOKKAIDO MUSEUM OF LITERATURE

北海道立文学館

（指定管理者）公益財団法人 北海道文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番4号

TEL(011)511-7655 FAX(011)511-3266